



Raspberry Pi Foundation

オンラインクラブセッションのご案内

オンラインセッションは、決められた時間に、ビデオ会議やライブストリーミングツールのサポートを受け行われます。次に実際に会うまでの期間、オンラインセッションを行うことでCode ClubやCoderDojoの学習を継続することができます。

このガイダンスは、コミュニティメンバーの経験やフィードバックに基づいて作成されたものであり、今後も必要に応じて更新していく予定です。

クラブに3人の学習者がいようと、30人の学習者がいようと、あなたのコミュニティのことはあなたが一番よく知っているのです。クラブでの経験はそれぞれ異なるため、このガイダンスを自分のクラブに合うようにアレンジすることをお勧めします。

オンラインセッションを開催する5つのポイント:

- [1. 安全対策](#)
- [2. 適切なオンラインツールの選び方](#)
- [3. データ保護とセキュリティ](#)
- [4. 青少年、保護者、ボランティアとのコミュニケーション](#)
- [5. セッションを設計すること](#)

1. 安全対策

Raspberry Pi 財団が支援するすべての活動において、私たちはセーフガードに関してしっかりと取り組んでいます。私たちは、いかなる子ども、若者、弱い立場にある大人も、いかなる種類の虐待も経験してはならないと考えています。私たちは皆、すべての子ども、若者、弱い立場の大人の福祉を促進し、彼らの安全を守る責任があります。

Raspberry Pi 財団の [セーフガード行動規範](#) は、オンライン活動だけでなく、対面式のミーティングにも適用されます。唯一の違いは、大人と若者の比率に関するものです。オンラインでの活動には、常に少なくとも2人の大人が同席する必要があります。これらの大人のうち少なくとも1人は、最新のバックグラウンドチェックを受けたCode ClubまたはCoderDojoのボランティアとして登録されている必要があります。

他の大人(ボランティアや保護者)は、常に監督し、若者の個人情報へのアクセスを制限する限り、オンライン・セッションに参加することができます。いかなる場合においても、個々の若者と1対1のセッションを行うべきではありません。

また、以下のことを確認する必要があります。

- ✓ 青少年がオンラインセッションに参加するためには、保護者の同意が必要です。
- ✓ オンラインセッション中は、保護者などの大人が家にいなければなりません。彼らは同じ部屋にいる必要はありませんが、セッションが行われていることを知っている必要があります。
- ✓ 保護者の方には、家の中の開けた場所やドアを開けた部屋に座ってオンラインセッションに参加するようアドバイスしてください。
- ✓ 保護者にRaspberry Pi財団の[safeguarding page](#)へのリンクを提供し、懸念事項を報告する場所がわかるようにすること。
- ✓ 若者とのコミュニケーションはすべてオープンにしなげなければならない、自分と学習者、あるいは学習者間でプライベートなメッセージをやり取りできるようなオンラインツールの使用は避けるべきです。学習者がプライベートメッセージを送ってきた場合は、必ず公開チャットで返信し、会話をオープンに戻してください。
- ✓ セッション中にウェブカメラを使用することは問題ありませんが、セッションの録画やスクリーンショットを取ることは禁止されていることを家にいる人全員に伝えてください。
- ✓ 自作の解説ビデオや写真を若い人に見せる場合は、背景のスペースが子供向けで、不適切なものが表示されていないことを確認すること。共有する動画・写真ファイルが正しいか、住所など個人情報が表示されていないか、必ず3回確認してください。
- ✓ 若者が自分のプロジェクトをリンク、ビデオ又は写真で送ることがあることを保護者に知らせ、若者がコンテンツを共有する前に保護者の許可を得ていることを確認すること。
- ✓ いかなるコミュニケーションツールでも、学習者と個人情報を共有しないこと。

[「オンラインセッションのベストプラクティス」録画](#)をご覧ください。また、定期的に開催される[オンラインワークショップ](#)に参加することも可能です。

2. 適切なオンラインツールの選び方

オンラインクラブセッションを開催するために使用できるオンラインツールは数多くあり、機能性、コスト、使い勝手もさまざまです。学習者が13歳未満の場合、ほとんどすべてのオンラインツールで、保護者による代理サインインやアカウントの認証が必要になります。

オンラインツールは、以下のセキュリティ機能を持つもののみご利用ください。

- セッションごとに新しいIDを生成し、クローズドグループまたはプライベートグループを作成することができます。
- ゲストの入室をコントロールする「ウェイトングルーム」機能。個人のセッションIDを共有せず、自分のクラブに所属している人だけが参加できるようにしてください。
- ホストは、個人をミュートしたり削除することができます。

これらのオンラインツールは、あなたが選択することができます。

- BigBlueButton、Cisco WebEx、Google Meet、Zoomなどのオンラインのビデオ会議ツール。両者の特徴の比較は[こちらの表をご覧ください](#)。
- YouTube Liveなどのストリーミング動画サービス。
- Microsoft TeamsやGoogle Classroomなどのクラウド教室ソリューション。
- Office 365やGoogle Docsなどのコラボレーションオフィススイート。
- Kahoot! などのアイスブレイクツール そして、パドレットです。
- FlipgridやScratchスタジオなどのツールを展示すること。

コミュニティは、さまざまなツールを試してきました。彼らは以下のような有用性を見出しました。

- **Google Meet** と**Google Classroom** を含む**Google Workspace for Education** は、学校や道場 (coderdojo.com の電子メールアドレスを使用) は無料で使用できます。
- **Zoom** は、学校および道場 (coderdojo.com の電子メールアドレスを使用) のために、無料の基本バージョンのツールの 40 分の制限を一時的に解除しています。
- **Microsoft Teams** または **Google Classroom** のいずれかを使用すると、資料やフィードバックを送信し、質問を受信し、ライブ セッションを開催できるため、リモート活動をオンラインセッションと容易に組み合わせることができます。

オンラインツールを選ぶときは、次のことを考えましょう。

- ✓ 学習者はすでに他の活動で特定のオンラインツールを使用していますか? 彼らが使い慣れたツールを使用してセッションを開催すれば、より簡単に参加できるようになります。
- ✓ 大人と若者、または若者同士の私的なコミュニケーションを可能にするツールですか? これは安全保障上のリスクをもたらすので、セッションでこれらの機能を無効にするか、これを可能にするツールの使用を避けるようにしてください。
- ✓ 青少年にオンライン アカウントを要求していますか? アカウントが必要なほとんどのコラボレーション ツールでは、アカウント所有者は 13 歳以上である必要があります。もし、あなたのグループの若者が、あなたが使いたいツールの年齢制限に満たない場合、その保護者は必要なアカウントを設定し、セッション中、近くにおいてあげる必要があります。
- ✓ 学習者のコンピューターにツールをインストールする必要がありますか? これは、コンピューターの管理者権限を持たない学習者にとっては問題かもしれません。
- ✓ 複数のOSやウェブブラウザで動作するか、また、無料で使えるか? コストをかけずに、すべての参加者が共通して使えるツールであることを確認してください。

3. データ保護とセキュリティ

収集した個人データの責任はお客様にありますので、お客様の国で適用されるデータ保護の原則に従うことをご確認ください。GDPRはEUで適用され、EU加盟国に拠点を置くすべてのテクノロジープロ

バイダーは、GDPRの原則を遵守する必要があります。しかし、EU圏外に拠点を置く企業にとっては、必ずしもそうとは限りません。したがって、EU圏内にあり 圏外に拠点を置く企業(例えば、Zoomは米国に拠点を置く企業のもの)が提供するオンラインツールを使用したい場合、その企業がGDPRの原則に従っているかどうか、プライバシーポリシーを確認する必要があります。データ保護に関するリスクは定期的に更新されるため、詳細は各国の保護監督当局の関連するデータをご覧ください。

オンラインツールを選ぶ際には、ツールを提供している企業のセキュリティやプライバシーに関するポリシーをそれぞれ確認するようにしてください。以下のような問題への対処が可能であることを確認する必要があります。

- ✓ 個人データの使用と保存の制限:ファイルは必要な場合のみ、個人データを制限して共有する必要があります。収集した個人情報を必要な限度で保管し、できるだけ早く削除することで、個人情報漏洩のリスクを最小化し、個人の期待に沿った行動をとること。
- ✓ あらゆる個人データへのアクセスを制限する:オンライン ツールおよびその中のデータへのアクセスを、それを必要とする人だけに制限する。
- ✓ 個人データを収集する場合、それをどのように使用するかについて参加者に伝えてください。これについては明確かつ透明性がなければなりません。
- ✓ ツールは安全ですか ツールのプライバシーおよび Cookie のポリシーを確認し、セキュリティとデータの設定を適切なレベルに設定したことを確認します。ツールのセキュリティレベルを評価する際には、ぜひご検討ください。
 - ツールには強力なパスワードが必要ですか？
 - アクセス要件に応じた役割を作成できますか？
 - ツールを使った通信は暗号化されていますか？

4. 青少年、保護者、ボランティアとのコミュニケーション

保護者やボランティアにセッションがオンラインで開催されることを知らせ、発表の際にRaspberry Pi財団の[安全保護ページ](#)へのリンクを記載してください。オンラインセッションへのリンクと参加に必要な手順を共有してください。(これは、セッションの設計方法によって異なります)。また、学習者のためにどのような活動を計画しているのかを共有し、学習者が必要とするオンラインプロジェクトやPDFファイルへのリンクも掲載します。

- セッション外でのクラブの会員とのコミュニケーションは、常に青少年の保護者で行い、青少年には直接行われないようにしなければなりません。
- メンバーの保護者に直接連絡する方法がない場合は、会場に問い合わせてください。
- オンラインセッションのアクセス情報は決して公開しないよう注意し、招待した人だけが参加できるようにしてください。
- 保護者が、自分の子供が個々の学習ニーズを満たすために追加的なサポートを必要とするかどうかを開示する機会を提供すること。

5. セッションを設計すること

オンラインセッションを発表する前に、セッションの構成を設計し、資料を準備してください。初回セッションの準備は、リソースやツールのセットアップが必要なため、二回目以降のセッションよりも時間がかかるでしょう。セッションは60分～90分を推奨しています。

以下のとおり、セッションの構成を考えること。

- ✓ 参加する若者や大人には、事前にどのような活動を計画しているのかを知らせておいてください。
- ✓ 参加する若者と大人に、行動規範とオンラインセッション中に求められる行動（プライベートメッセージやスクリーンショットの禁止など）について留意してください。
- ✓ 各セッションの始めに時間をかけて、セッションを行うために選んだオンラインツールに若者が慣れ、使い方を知っていることを確認すること。
- ✓ セッション開始時にアイスブレイカー活動を計画してください。これは、学習者に挨拶をして、何を作る予定かを他の人に伝えるようにお願いするのと同じくらい簡単なことかもしれません。
- ✓ 年齢、プログラミング言語、必要なサポートのレベルなど、何らかの方法で学習者を分けるかどうかを決めてください。オンラインビデオ会議ツールの中には、個別の部屋を作成する機能を持つものや、複数のビデオセッションを作成し、異なるグループに対応できるものもあります。事前に保護者と適切なリンク先を共有してください。ブレイクアートルームを含む各仮想環境には、常に少なくとも2人の成人の指導者がいるべきであることを忘れないでください。
- ✓ セッションの最後に、学習者が自分のプロジェクトを披露できるようなショーケースを進行することを検討してください。

あなたのクラブのオンラインセッションを設計するための[より詳細なガイダンスがまとめられており](#)、ダウンロード可能なセッションスケジュールのテンプレートも含まれています。

Raspberry Pi 財団

英国登録慈善団体 1129409

www.raspberrypi.org最終更新日2021年11月